

令和7年度各会計予算 に対する各会派の

意見表

(要旨)

自民党豊島区議団

令和7年度一般会計予算、3
特別会計予算に賛成。

7年度予算は、集中的な事業
見直しや「査定方式」への移行
等、新たな区政が動き出す大き
な転換点となる。質疑を通して
10年間での財政構造の変遷を
確認。計画されている投資事業
を着実に実施するためには、こ
れまでの発想を転換し、新たな
考え方に基づき、財源を確保し
ていくことが重要。

款別に見ると、総務費では、
防災備蓄物資の状況を確認。救
援センターに備蓄品を取りに行
けない方へのサポートの検討を。
衛生費では、発達障害や疾病を
早く見つけ、療育につなげてい
くためにも5歳児健診を開始し、
誰一人取り残すことがないよう
な健診の実施を。環境清掃費で
は、公衆喫煙所の整備や民間事
業所における喫煙室整備支援に
取り組み、受動喫煙やポイ捨て
を防ぎ、誰もが安全・安心を実
感できるまちの実現を。文化ス
ポーツ費では、改定される生涯
学習推進ビジョンをHPやSNS
等を活用し、しっかりと周知
を。教育費では、小中連携教育
の更なる推進を。特別会計の後
期高齢者医療事業会計では、未
納者対策に引き続き取り組み、
被保険者への制度周知に注力し、
後期高齢者医療制度の安定的な
運営を。

公明党

令和7年度一般会計予算、3
特別会計予算の可決に賛成。以
下、要望の要旨を述べる。

●区民税収入の長期的な見直し
を●実際の避難現場を想定した
救援センターのトイレ環境の整
備を●要配慮者の避難の在り方
の十分な検討を●地域と連携し
た消防団への支援を●対策療法
の調査を重ね、予防に重点を置
いた認知症対策を●フレイル対
策事業の区内全域での情報提供
や、区民が活動しやすい環境づ
くりの展開を●带状疱疹ワクチ
ンをはじめとした接種事業の積
極的な推進と効果の検証を●ペ
ット同行避難の際、避難所とな
る学校との十分な情報共有を●
私道の適正管理に向け、更なる
支援強化を●ごみの不法投棄へ
の徹底した対策を●小1の壁対
策事業については子どもの状況
に応じて柔軟な対応を●従来の
指導方法を改善し、子どもたち
が将来を生き抜くために必要な
学習指導・教育の実施を●不登
校児童生徒に安心を与えられる
居場所の運営と新たな居場所の
検討を●被害者・加害者双方の
心の痛みに寄り添ういじめ防止
対策の取組みを●見守り・安否
確認が徹底された居住サポート
住宅の更なる展開と入退去時支
援の体制整備を●ケアマネージ
ャーの業務の分散化や資格更新
時の簡略化を

立憲・れいわ

令和7年度一般会計予算及
び3特別会計予算の可決に賛成。
予算審査に当たり、声をあげ
られない区民の声を拾い上げ、
区政につなげる代弁者として、
生活の基盤を支える豊島区であ
るかという視点で実施。

款別に意見を述べる。7年度
も区民による事業提案制度の実
施を。7年度も引き続き防災対
策及び帰宅困難者対策に女性の
視点を取り入れる取組を。犯罪
被害者等支援事業において、犯
罪被害者及びその家族を支援す
るに当たり、同性パートナーも
支援の対象に。産後ケア事業の
拡充について、より丁寧で分か
りやすい案内を。南池袋C地区
の市街地再開発事業に伴うコミ
ュニティや防災、エリアマネジ
メントの在り方を確認。大規模
開発によって土地の価格や家賃
が高騰している現状に対し、区
民にアフォーダブル住宅や区営
住宅の整備を。DXの推進につ
いて運用や管理体制は常に検討
を。教育部が所管となる図書館
について、多様な学びの場、居
場所の確保として不登校支援に
活用を。中学生センタージャン
プ等、中学生向けの放課後の居
場所がないエリアにおいて、放
課後支援の拡充を。区有施設の
自販機について、一部をとしま
子ども若者応援プロジェクト寄
附型自販機への切り替え検討を。

都民ファーストの会・国民

令和7年度一般会計予算及
び3特別会計予算の可決に賛成。
「誰もが住みたくなる8つのま
ちづくり」の実現に向け、区政
が大きな転換期を迎えるなかで、
未来に資する意欲的な予算編成
がなされたと認識している。

款別に提案、要望を述べる。
行政のDX推進体制強化に向け、
専門人材の登用や基幹システム
の標準化に取り組みとともに、
継続的な改善を。防犯カメラ設
置に協力する町会や商店街に引
き続き必要な補助を。誰でも食
堂への引き続きの助成と情報が
届きづらい高齢者への事業周知
を。民泊は、規制強化を視野に
入れた条例改正を含め、住民の
安全安心に資する課題解決を。
繁華街での不法投棄について、
外国人への周知徹底等、対策の
強化を。路面下空洞調査等によ
り、高リスクエリアへの対応を。
都市交流では、文化事業に加え、
これまで以上に経済交流を深め
ることを期待。としま子ども会
議は、今後も子供たちの意見を
聞く場が設けられるよう積極的
な取組を。ICT機器の整備等、
当面の改築予定がない学校の教
育環境整備を。3校で実施した
不登校支援員配置の成果は、7
年度からの全校展開で活用を。
国民健康保険を持続可能な制度
とするために、医療費適正化と
収納率向上への取組を。

維新・無所属

令和7年度一般会計予算、3
特別会計予算に賛成。
民主主義の根本である選挙
の事務作業がよりスムーズかつ
正確に行われることを希望。区
民提案の防災を楽しく学ぶ体験
型イベントでは子供たちが楽し
く学べる企画を期待。全ての相
談窓口業務でDX化の推進を
図り、行かなくて済む区役所の
目標達成に向けた尽力を。介護
人材不足はサービス低下・介護
を受けられない人の増加・介護
離職に繋がる喫緊の課題として
早急の対策を。国及び都の新し
い計画を注視し、実情に合った
計画策定で更なる無電柱化のス
ピードアップを。多世代近居・
同居支援事業は広報等を活用し
た周知を。区営住宅の老朽化対
策は、民間の空き住戸を利用し、
低予算で多くの方が定住できる
よう要望。日韓親善少年野球大
会での渡航費を一部でも補助す
ることを強く要望。ファミリー
ズマーケットは開催日数を絞り、
適切な時期・店舗数で盛り上げ
る運営を。としま未来文化財団
への懐疑心払拭のため、相当の
覚悟で臨むことを強く要望。

全ての部局で、全体のコスト
意識を共有し、時代に合った区
民サービスを追求し、要となる
政策経営部と切磋琢磨し、限ら
れた財源の中で最高の区民サー
ビスが展開できるよう尽力を。

日本共産党

25年度一般会計予算に反対。
第1に物価高騰により一層深
刻となった区民生活を直視し、
区民需要に応える予算になつて
いない。生活保護利用者の実情
や物価高騰に対する認識が欠落
しており、他区で実施している
法外援護の拡充を求め。低所
得者が立ち退きにあっても安心
して住み続けられる良質で低廉
な公営住宅を求め。防災対策
の柱となる耐震補強のための予
算が少なすぎる。高齢者補聴器
購入費助成を更に拡充すべき。
重度の障がい者も入所できるグ
ループホームを区が責任を持つ
て早急に建設すべき。気候危機
打開に本気で取り組むべき。子
どもスキップの常勤職員は、所
長を除き2人体制にすべき。就
学援助認定基準の引き上げを強
く求める。教員の長時間労働の
解決のために部活動の負担軽減
を図るべき。

第2に大型開発・来街者優先
のまちづくりを進め、市街地再
開発事業への巨額の税金の投入
や、公共交通とは言いえないイ
ケバスなど、住民追い出しと不要
不急の無駄な事業を進めている。
三特別会計について、高すぎ
る国民健康保険、自己負担が増
え、実質的な年金の引き下げと
なる後期高齢者医療保険、需要
に見合った十分なサービスが受
けられない介護保険に反対。